

令和7年度 白砂まちづくりセンターの主な取組

事業名

☆コネクトしらすな☆（県大生協働事業）

P

●事業実施に至った背景、目的

令和5年度より、県大村山ゼミとの関りが生まれ、毎年4～5名の学生が地域での事業を計画したり、まちづくり委員会の事業にボランティアとして参加してくれるようになった。今年度はさらに幅を広げ、県大生のやってみたいことと、白砂地区からの要望をすり合わせ、どちらにとってもWin-Winになる関係作りを目指す。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打合せ等)

- ・年度当初に学生、村山先生、まちづくりセンター職員との打合せ
- ・実施に向けた話し合い 事業ごとに1～2回

D

●事業の概要

- ・6/2(月) 第1回打合せ 県大生のやってみたいこと、白砂の要望のすり合せ
- ・6/24(火) 第2回打合せ 夏休みサマースクールについて
- ・7/18(金) 西条柿摘果体験→まちづくり委員会中期計画策定会議に参加
- ・7/27(日) 白砂っこ倶楽部夏休み企画&白砂花火 ボランティアとして参加
- ・8/19(火) サマースクール準備 竹の伐採、そうめん流し作り
- ・8/21(木) 夏休みサマースクール 宿題、流しそうめん、ウォーターカラーバトル
- ・9/12(金) 第3回打合せ キス釣り体験について(ZOOM)
- ・10/13(月) キス釣り体験&お魚料理教室 キス釣りは荒天のため中止、料理教室のみ実施
- ・11/9(日) 西条柿収穫体験&干し柿作り
- ・12/5(金) 第4回打合せ まちづくり委員会中期計画策定会議→2月開催のきちゃん祭打合せ
- ・12/21(日) もちつき交流会 ボランティアとして参加
- ・2月、3月 みんなでつろーてきちゃん祭、干し柿料理作り、白砂っこ倶楽部お別れ遠足への参加を予定

C

●事業実施後の振り返り

- ・年間を通して、多くの会議、事業に参加してもらった。地域の多くの方から、「県大生が来てくれて盛り上がったね」「若い人が来ると元気が出る」と声をかけていただけた。
- ・県大生にも、自分たちで計画したことが形になることの楽しさや苦労を学んでもらうことが出来た。白砂の人やモノにふれることで、多くの交流が生まれた。

A

●今後の方向性

- ・県大生は毎年メンバーが変わるので、関わってくれる学生によって興味のある部分も違う。例年同じ活動にするのではなく、白砂の地域資源を生かし、どんな要望にも応えられるよう、地域と連携しながら継続していきたい。

